

4月のけんこう

早期発見のため、健診(検診)を受けましょう

■集団検診(総合健診、子宮がん・乳がん検診)

申込方法／専用の申込はがき(切手不要)に必要な事項を記入し郵送、または市ホームページから(電話での申し込みはできません)

※申込はがきは、4月10日(木)から土浦市保健センター、市役所総合窓口、各支所・出張所、各地区公民館で配布します。

申込期間／4月10日(木)～5月14日(水)(当日消印有効)

●乳がん検診(マンモグラフィ)の受診者は偶数年齢の方に限ります。ただし、検診無料クーポン券の対象者は受診できます。

※日程や検診項目、検診料など、詳しくは「平成26年度みんなの健康づくり便利帳」をご覧ください。

■医療機関検診のご案内

市では、市内の医療機関で各種がん検診(20歳以上)、健康診査(20～39歳、75歳以上の方)が受診できる受診券を発行しています。

申込方法／健康保険証を持参して、土浦市保健センター、市役所総合窓口、各支所・出張所で直接、または電話、市ホームページから

※詳しくは「平成26年度みんなの健康づくり便利帳」をご覧ください。

■検診無料クーポン券を発送します

子宮頸がん検診、乳がん検診(マンモグラフィ)、大

申問 健康増進課(土浦市保健センター ☎826-3471)

腸がん検診(便潜血反応検査)の無料クーポン券を5月中旬に発送します。医療機関のほか集団検診でも利用できますので、希望する方はお申し込みください。
※詳しくは、クーポン券に同封される案内をご覧ください。

検診名	対象者	備考
子宮頸がん検診 (女性のみ)	S48. 4. 2～S52. 4. 1生まれ	無料クーポン券を利用して受診したことがない方のみ
	S53. 4. 2～S57. 4. 1生まれ	
	S58. 4. 2～S62. 4. 1生まれ	
	S63. 4. 2～H 4. 4. 1生まれ	
	H 5. 4. 2～H 6. 4. 1生まれ	全員に発送
乳がん検診 (女性のみ)	S28. 4. 2～S32. 4. 1生まれ	無料クーポン券を利用して受診したことがない方のみ
	S33. 4. 2～S37. 4. 1生まれ	
	S38. 4. 2～S42. 4. 1生まれ	
	S43. 4. 2～S47. 4. 1生まれ	
	S48. 4. 2～S49. 4. 1生まれ	全員に発送
働く世代の 大腸がん検診	S28. 4. 2～S29. 4. 1生まれ	集団検診のみクーポン券利用可(全員に発送)
	S33. 4. 2～S34. 4. 1生まれ	
	S38. 4. 2～S39. 4. 1生まれ	
	S43. 4. 2～S44. 4. 1生まれ	
	S48. 4. 2～S49. 4. 1生まれ	

献血のお知らせ

と き／4月18日(金)

午前10時～11時45分、午後1時～4時

ところ／イオンモール土浦(上高津)

健康教室

インプラント

土浦市歯科医師会
加藤良一(永林堂歯科医院)

ここ何年か歯科の話題として、雑誌やメディアで歯科口腔インプラントについて取り上げられる事が多いようです。これらの話題の中では批判的なものの方がどちらかというとい多いようであるように自分でも思われます。インプラントとは、どんなものでしょう。

入れ歯と違い、自分の歯で噛んでいるような“かみ心地”で、見た目にも大変綺麗です。入れ歯のような違和感や外れるような不安もありません。また、どんな治療方法かという、最近では単独の歯やブリッジ、入れ歯を抑えるなどの色々な形態の治療方法がありますが、どれもあごの骨に、歯の根の代わりに人体に無害な特殊な金属を埋め込み、その上に人工の歯を付けるものが代表的であります。しかし、簡単な治療ではありませんので、歯、口の状態、全身の状態によっては手術ができない場合があります。具体的にどのような方がインプラントの手術ができないのでしょうか。

歯、口の状態からは、悪習慣(食いしばり、歯ぎしり

など)がひどい、口腔清掃が良くないなどが当てはまります。全身疾患からは、重篤な全身疾患(重度の糖尿病、骨粗鬆症、循環器疾患、肝疾患、呼吸器疾患、腎疾患、リウマチ、血液疾患、甲状腺機能障害、免疫不全など)、精神疾患、チタンアレルギー、また体内に異物を埋め込むことに対して違和感があるなどが当てはまります。ただ、疾患にも軽度、重度などがあげられます。

雑誌やメディアであげられている内容が、インプラントの全てではなく、もし、インプラント治療をお考えの方は、インプラント治療の行っている歯科医院で以上の歯、口の状態、全身の状態など(場合によって全身の状態については、かかりつけの内科医など)、また歯科医院によっては治療内容や治療可能範囲が異なるので、よくご相談し、ご理解をしてから治療を受けることをお勧めいたします。ちなみに自分自身、歯がなくなった場合、重篤な全身疾患がない限り迷わずインプラント治療を受けたいと思います。